

## 用語解説

## －あ行－

### 駅端末交通手段

鉄道を利用する際の、出発地から乗車駅までの交通手段、あるいは降車駅から目的地までの交通手段のこと。

### エコ通勤

CO<sub>2</sub>排出量を削減するため、各事業所が主体的に公共交通や自転車・徒歩など自動車以外の交通手段で通勤する取組のこと。

## －か行－

### カーシェアリング

1 台の自動車を複数の会員が共同で利用する自動車の新しい利用形態のこと。

### 外出率

居住人口に対する外出した人数の割合。

### グリーンスローモビリティ

電動で時速 20 km未満で公道を走ることが可能な 4 人乗り以上のパブリックモビリティ。

### 交通結節点

異なる交通手段等を相互に連絡する乗り換え・乗継施設のこと。具体的には、鉄道駅、バスターミナル、駅前広場などが挙げられる。

### 交通量

道路のある地点を、単位時間（例：1 時間、昼間 12 時間、1 日）あたりに通過する自動車・自転車・歩行者などの数。

### 高齢化率

65 歳以上の高齢者人口が総人口に占める割合。

### コミュニティバス

交通事業者による独立採算で運行するバスとは異なり、交通空白地域の解消などを図るため、市町村などが主体的に計画し、交通事業者が運送を行う乗合バス。

### 混雑度

道路の混雑の程度を表す指標。道路の交通量

を交通容量で除した値で示す。

### コンパクトシティ

都市の中心部に行政、産業、住宅など、さまざまな都市機能を集中させることによって、都市機能を維持しようという考え方のこと。

### コンパクトシティ・プラス・ネットワーク

人口減少・高齢化が進む中、特に地方都市においては、地域の活力を維持するとともに、医療・福祉・商業等の生活機能を確保し、都市の居住者が安心して暮らせるよう、公共交通と連携して、コンパクトなまちづくりを進める考え方のこと。

## －さ行－

### サイクル&バスライド

出発地から自転車でバス停まで行き、バスに乗り換えて目的地に向かうこと。

### シェアサイクル

他の人と自転車をシェア（共有）し、好きなタイミング、好きな場所で、好きな時間利用するための仕組み。

### 市街化区域

都市計画法における都市計画区域のうち、市街地として積極的に開発・整備する地域で、すでに市街地を形成している区域及び概ね 10 年以内に優先的かつ計画的に市街化を図るべき区域。

### 市街地再開発事業

都市再開発法に基づき、市街地の合理的かつ健全な高度利用都市機能の更新を図るため、道路等の公共施設の整備、建築物及び建築敷地の整備を行う事業。

### 就業率

15 歳以上の人口に占める「就業者」の割合。

### 主要地方道

道路法第 56 条に規定する主要な都道府県道や市道のこと。

### 新交通システム

全自動無人運転車両（APM）やモノレール、次世代型路面電車（LRT）など、従来とは異なる交通システム全般を指す概念。

### 生活道路

児童生徒の通学、食料日用品の買い物、近隣との往来、役場公民館への出入など市民の日常生活に使用する道路。生活関連道路の略。

### 生成原単位

ある地域に居住する人の1人1日あたりの平均トリップ数。下記の通り、「グロス生成原単位」と「ネット生成原単位」の2つがある。

グロス生成原単位：ある地域に居住する全ての人の平均トリップ数

ネット生成原単位：ある地域に居住する全ての人のうち、外出した人の平均トリップ数

### **ーた行ー**

#### 代表交通手段

目的地までの移動で利用した交通手段のこと。複数の交通手段を乗り換えている場合は、その中の主な交通手段1つを代表交通手段という。主な交通手段を決める際の優先順位は、鉄道、バス、自動車、二輪車、徒歩の順としている。

### 昼夜間人口比率

常住人口100人当たりの昼間人口の割合であり、100を超えているときは通勤・通学人口の流入超過、100を下回っているときは流出超過を示している。

### 通過交通

交通調査や交通需要予測において、設定される対象地域内に出発地及び到着地のいずれも持たず、単に通過するだけのトリップのこと。

### デマンドバス

指定区域内の複数の利用者の希望乗降場所（バス停もしくは拠点施設）及び乗降車時刻の予約に応じて、希望乗車場所へ迎えに行く形の経路で運行する形態のバス。

### 都市計画区域

自然的、社会的条件等を勘定して、一体的な都市として総合的に整備、開発及び保全することを目的として定める区域。

### 都市計画道路

都市計画法に基づき都市施設として都市計画決定した道路。

### トリップ（目的トリップ・リンクトリップ）

人がある目的をもって、ある地点からある地点へ移動する単位。移動の目的が変わるごとに1つのトリップと数える。

なお、徒歩・バス・鉄道・徒歩など、リンクトリップを達成するために使用した交通手段をアンリンクトリップ（手段トリップ）という。

### トリップエンド

1つのトリップにおける出発地と到着地。1トリップに発と着の2つのトリップエンドがある。

### **ーは行ー**

#### パークレット

路上駐車スペース等を活用し、テーブルやベンチなどを設置することで、賑わいの創出や憩いの場の形成を図る取り組み。

### パーソントリップ調査

パーソントリップ調査は、一定の圏域に居住する人を対象に、どのような人がいつ、どのような目的で、どこからどこへ、どのような交通手段で移動したかについてサンプル調査を実施し、対象圏域における1日のすべての動きをとらえるもの。

### 発生交通量・集中交通量

ある地域を「出発地」とする人のトリップ数をその地域の「発生量」といい、「到着地」とする人のトリップ数をその地域の「集中量」という。この発生量と集中量を合計したものを「発生集中量」という。

### バリアフリー

高齢者や障がい者が社会生活をしていく上で、障壁（物理的・社会的等）となるものを除去する考え方。道や床の段差をなくしたり、階段の代わりに緩やかなスロープを作ったりすること。

### ポケットパーク

「ベストポケットパーク：vest pocket park」の略で、わずかなスペースを利用して都市環境を改善するための休憩場所等として設置される、ポケットほどの小規模な空間を指す。

### ボトルネック

道路において交通流動の妨げとなっている箇所のこと。具体的には、赤信号時間が相対的に長い交差点や、車線減少・幅員減少により渋滞を起こす箇所のことをいう。

## —ま行—

### 無電柱化

道路の地下空間を活用して、電力線や通信線などをまとめて収容する電線共同溝などの整備による電線類地中化や、表通りから見えないように配線する裏配線などにより道路から電柱をなくすこと。

### モビリティマネジメント

1人1人のモビリティ（移動）が、社会的にも個人的にも望ましい方向（過度な自動車利用から公共交通等を適切に利用する等）に変化することを促す、コミュニケーションを中心とした交通政策。

## —ら行—

### 路線バス

道路運送法に基づき、利用者の有無にかかわらず、決められた時刻・ルートで有償により運行されるバス。

## —A—

### DID地区

人口密度が1平方キロメートル当たり4,000人以上の基本単位区等が市区町村の境界内で互いに隣接し、それらの隣接した地域の人

口が5,000人以上を有する地域。

### MaaS

“Mobility as a Service”の略。出発地から目的地までの移動ニーズに対して最適な移動手段をシームレスに一つのアプリで提供するなど、移動を単なる手段としてではなく、利用者にとっての一元的なサービスとして捉える概念。

### PDCAサイクル

行政が実施する施策や事務事業などを、計画（PLAN）→実施（DO）→評価（CHECK）→改善（ACTION）というマネジメントサイクル（政策循環過程）を利用して、事務事業の結果や成果を計り、貢献度や有効性等を客観的に評価し、改善方策につなげていくもの。

### P&R

自動車を駐車場に止めて鉄道等の公共交通輸送機関に乗り換えて移動すること。

### SDGs（持続可能な開発目標）

平成13年（2001年）に策定されたミレニアム開発目標（MDGs）の後継として、平成27年（2015年）9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された平成28年（2016年）から令和12年（2030年）までの国際目標。